岩盤ボーリング柱状図

調査名	砂防指定地内河川　天楽川1号　通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	No.4	調査位置	広島県三次市作木町下作木	北緯	34° 52′ 00.2500″
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和4年 4月20日～ 令和4年 4月22日	東経	132° 43′ 15.3500″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 159.64m	角度	180 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	6.00m	地盤勾配	46° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D-1型 / エンジン：ヤンマーディゼルNFD-12 / ポンプ：東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1	158.64	1.00		砂混り礫	暗褐								φ5～50mm程度の角礫が主体である。若干の細砂が混じる。	
	158.14	1.50		強風化流紋岩	褐	w5	h3	E	VI	d	D	[0] (100)	砕くと砂礫状（砂、φ2～30mm角礫）となる。	
2	157.64	2.00		流紋岩	黄褐	w3	h3	C	IV	b	CL		コアは主に岩片状コアとなる。岩心は硬質である。	
	157.14	2.50		風化流紋岩	褐	w4		D	VI	d	D	[0] (100)	砕くと砂礫状（砂、φ2～30mm角礫）となる。	
3	156.24	3.40		流紋岩	褐	w4		C	IV	c	CL	7[0] (100)	キレツ間は砂礫～砂状で固結している。未風化の岩片状コアは4割程度である。。。	
4					～	w3	h2	C	IV	b	CL	[0] (100)	岩心は硬質であるが、斜交キレツが発達している。	
5					淡青灰							3[0] (100)	キレツ面は褐色に変色する。またキレツ面は1～2mm程度の空隙やキレツ面の細礫化がみられる。	4/22 4.80
6	153.64	6.00												
7														
8														
9														
10														
11														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
24	1.15	24 / 300		
	1.45			
36	2.15	36 / 300		
	2.45			
50以上	3.00	50 / 250	250	
	3.25			
50以上	4.00	貫入不能		

深度－N値図

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
		4/20	2	86/ケーシング	S/MC	0	60	0	W/0	0
			3		S/MC	0	60			
			1	66/ケーシング	HW/DI	0	110	0	W/6	5
			0							
			0							
		4/21	1			0	110			
		4/22	0	66	HWDI			0	W/6	3